

砂沢遺跡シンポジウム

— 弥生最北・東日本最古の水田の実像を追う —



砂沢遺跡水田跡全景

◇ 開催にあたり ◇

砂沢遺跡は、岩木山北東麓に所在する、今から約2,300年前の弥生時代前期の遺跡です。弘前市では昭和59年から63年までの4か年間、発掘調査を行い、弥生時代において日本最北、かつ、東日本最古級の水田跡6枚を発見しました。

なお、出土遺物のうち一部は、縄文時代と弥生時代をつなぐ貴重な資料として、国の重要文化財に指定されています。

また、近年、弘前大学等による学術調査も行われており、重要遺跡として再び注目を集めつつあります。

弘前市では、本遺跡の保存と継承の大切さを紹介し、ひいては文化財保護への理解を促進する機会として、考古学の専門家をお呼びして、砂沢遺跡シンポジウムを開催します。

併せて、「砂沢遺跡—弥生最北東日本最古の水田の実像を追う—」と題して、ヒロロ3階スクエアイベントスペースにおいて、パネル展を開催します。

平成29年9月30日（土）13時00分から17時30分

場 所：ヒロロ4階市民文化交流ホール
青森県弘前市駅前町9-20

入場料：無料、事前申込：不要

主 催：弘前市教育委員会

後 援：弘前大学北日本考古学センター



砂沢式土器
(国指定重要文化財)

◇ 出演者 ◇

基調講演 北海道大学 高瀬 克範氏 「弥生文化と砂沢遺跡」
報 告 弘前市教育委員会 岩井 浩介 「砂沢遺跡の概要」
講 演 弘前大学 上條 信彦氏
「最新の研究成果から見た砂沢遺跡と北日本の弥生文化」
講 演 愛媛大学 田崎 博之氏 「水田稲作農耕の拡散と砂沢遺跡」

講 演 文化庁文化財部記念物課 櫛宜田 佳男氏
「弥生時代遺跡の保存と活用」
パネルディスカッション 「弥生文化と砂沢遺跡」
コーディネーター 史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員長 工藤 竹久氏
パネリスト 高瀬 克範氏、上條 信彦氏、田崎 博之氏、
櫛宜田 佳男氏、岩井 浩介

◇ プログラム ◇



砂沢遺跡出土土偶
(小川忠博氏撮影)

13:00	開会挨拶	弘前市長	葛西 憲之
13:05	基調講演	北海道大学	高瀬 克範氏
	「弥生文化と砂沢遺跡」		
13:55	休憩		
14:05	報告	弘前市教育委員会	岩井 浩介
	「砂沢遺跡の概要」		
14:35	講演	弘前大学	上條 信彦氏
	「最新の研究成果から見た砂沢遺跡と北日本の弥生文化」		
15:05	休憩		
15:15	講演	愛媛大学	田崎 博之氏
	「水田稲作農耕の拡散と砂沢遺跡」		
15:45	講演	文化庁文化財部記念物課	禰宜田 佳男氏
	「弥生時代遺跡の保存と活用」		
16:15	休憩		
16:25	パネルディスカッション		
	「弥生文化と砂沢遺跡」		
	コーディネーター		工藤 竹久氏
17:30	閉会挨拶	弘前市教育委員会教育長	佐々木 健

◇ 出演者紹介 ◇

基調講演

北海道大学大学院文学研究科准教授

高瀬 克範氏

- 北海道大学大学院文学研究科博士課程修了 博士(文学)
- 北海道大学大学院文学研究科准教授。
- 主な専門分野・研究内容は、北日本・シベリアの考古学。
- 主な編著作・論文等
 - ・高瀬克範 2004 『本州島東北部の弥生社会誌』六一書房
 - ・高瀬克範 2014 『北上川流域における縄文系石器の使用痕分析』『古墳と縄文文化』東北・関東前方後円墳研究会編 高志書院
 - ・高瀬克範 2015 『稲作農耕の受容と農耕文化の形成』『東北の古代史2 倭国の形成と東北』藤沢敦編 吉川弘文館

報告

弘前市教育委員会文化財課主幹兼埋蔵文化財係長

岩井 浩介

講演

弘前大学人文社会科学部准教授

上條 信彦氏

- 九州大学大学院人文科学府博士後期課程卒業 博士(文学)
- 弘前大学人文社会科学部准教授。
- 主な専門分野・研究内容は、先史考古学、食料加工技術を中心とした生業研究。
- 主な編著作・論文等
 - ・上條信彦 2015 『縄文時代における脱殻・粉碎技術の研究』六一書房
 - ・上條信彦 2017 『縄文時代の自然環境』『生業』『石器』『青森県史 資料編 考古1』旧石器・縄文草創期～中期

愛媛大学先端研究・学術推進機構埋蔵文化財調査室教授

田崎 博之氏

- 九州大学文学研究科博士後期課程中退
- 愛媛大学先端研究・学術推進機構埋蔵文化財調査室教授。
- 主な専門分野・研究内容は、弥生時代の考古学、日本列島・朝鮮半島・中国における農耕文化とその社会に関する研究。
- 主な編著作・論文等
 - ・田崎博之 2002 『日本列島の水田稲作』『東アジアと日本の考古学IV 生業』後藤直・茂木雅博編 同成社
 - ・田崎博之 2014 『日本列島における縄文時代後晩期～弥生時代前期の集落と出土遺物』『青銅器時代 韓日 農耕文化の交流』韓国青銅器学会
 - ・田崎博之 2014 『韓国青銅器時代における木製農具の特性』『東アジア古文化論攷』中国書店

文化庁文化財部記念物課埋蔵文化財部門主任文化財調査官

禰宜田 佳男氏

- 大阪大学文学部史学科(国史学専攻)卒業
- 文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官。
- 主な専門分野は、日本考古学(主に弥生時代)。近畿を中心に、石器及び鉄器、集落、墓制を研究。
- 主な編著作・論文等
 - ・石野博信ほか編 2011 『研究最前線邪馬台国』朝日新聞出版(共著)
 - ・禰宜田佳男 2010 『明石川流域の弥生時代集落』『坪井清足先生卒寿記念論文集—埋文行政と研究のはざま—』坪井先生の卒寿をお祝いする会
 - ・禰宜田佳男 2013 『弥生時代の近畿における鉄器製作遺跡—「石器から鉄器へ」の再検討を前提として』『日本考古学』第36号 日本考古学協会

パネルディスカッション コーディネーター

史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員長

工藤 竹久氏

- 立正大学卒業
- 元八戸市職員として、市内の遺跡発掘調査を担当し、文化財課長や博物館長等を歴任。
- 史跡は川石器時代遺跡や史跡根城跡の整備等も担当。
- 現在、青森県文化財保護審議会委員並びに史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員長を務める。